

2012年6月22日(金) 教授会

資料：原告の日記より抜粋

●13時30分～16時30分 教授会

今日の教授会では、北村発言に気になるところあり。

1つは、欠席した理事会議事録をテープで聞いて、その時の様子を理解すると発言したこと
(教授会議事録はテープで残すな、文書で残すな、という発言をしてきた本人の口からの発言)、

特別任用の件では、雇用の責任はないという判定がくださった、ということ。

これは僕に対する圧力で、学部教授会が認めないケースにおいてはそのような事態が発生するということで、この最近の教授会で、学部の独立性(学長などの圧力を撥ね退けるという意味)を繰返し強調していること。

教員の審査に入る件で3件のうち1件のみ欠席投票があり、これにクレームをつける。

女性の教員が3番目の投票数と2番目の投票数に違いがあることを指摘して発覚、
全てではなくこの1件のみであり、

我々ははじめて聞く事項であるのに欠席した教員が何故知りえていたのかが疑問であり、
この決め方はおかしい、リスクあり、議論の情報も知らずに投票することを認める行為は疑問と
声を荒げて主張するが、田中、黒田先生にストップをかけられる。

⇒ 2012年度試行して、廃止か継続かを決めるとした
北村賢と田中健吾による、「経営学部教授会決議方法について」(2011年11月11日教授会)

ゼミの件で、学生の就職状況の厳しさから我々教員のできることをすべきではないか、

情報の公開を含めて意見を言うが、16名定員、MAX20名の範囲で、と樋口、北村が異議を唱える。
学生のことをこの時期考えるべきではないかと思うのだが。